

# 道南太平洋海域スケトウダラニュース

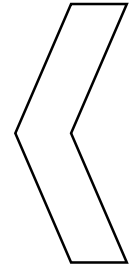
平成19年度 第4号

2007年12月4日

北海道立栽培水産試験場  
調査研究部

Tel: 0143-22-2327

Fax: 0143-22-7605



## 道南太平洋スケトウダラ計量魚探調査結果

調査船金星丸（函館水試）により実施したスケトウダラ計量魚探調査の結果をお知らせします。

- ・調査期間：平成19年11月28日～11月30日
- ・調査海域：渡島・胆振・日高支庁管内の水深100～500m太平洋海域

- ・魚群は渡島から日高までの調査海域全域に広く分布
- ・分布水深は150～500m
- ・スケトウダラの平均反応量は前回調査（10月）より増加

- 1．渡島から日高までの全域でスケトウダラと考えられる魚群が観察されました。分布水深は150mから500mの広い範囲にありました（図1、2）。
- 2．渡島から胆振（調査線B～M）海域の水深150～200m海域では、魚群が海底に接していましたが、水深300m以深では前回調査（10月）時と同様に海底から離れて中層に分布していました（図2）。
- 3．調査海域におけるスケトウダラの平均反応量は前回（10月）調査より増加しました。
- 4．漁具の設置状況からみて、魚群が海底に接している水深200m以浅の海域が良い漁場となっているようです。平均反応量が前回調査より増加していること、水深300mから沖側の中層に密度の高い魚群が分布していることから、今後これらが沿岸域に入ってくる12月中旬頃より漁獲が増加していくと予想されます。
- 5．次回の調査は1月中下旬を予定しています。
- 6．スケトウダラニュースはインターネットで栽培水試ホームページからもご覧になれます。

ホームページアドレス

<http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/exp/saibai/suketoudara.htm>

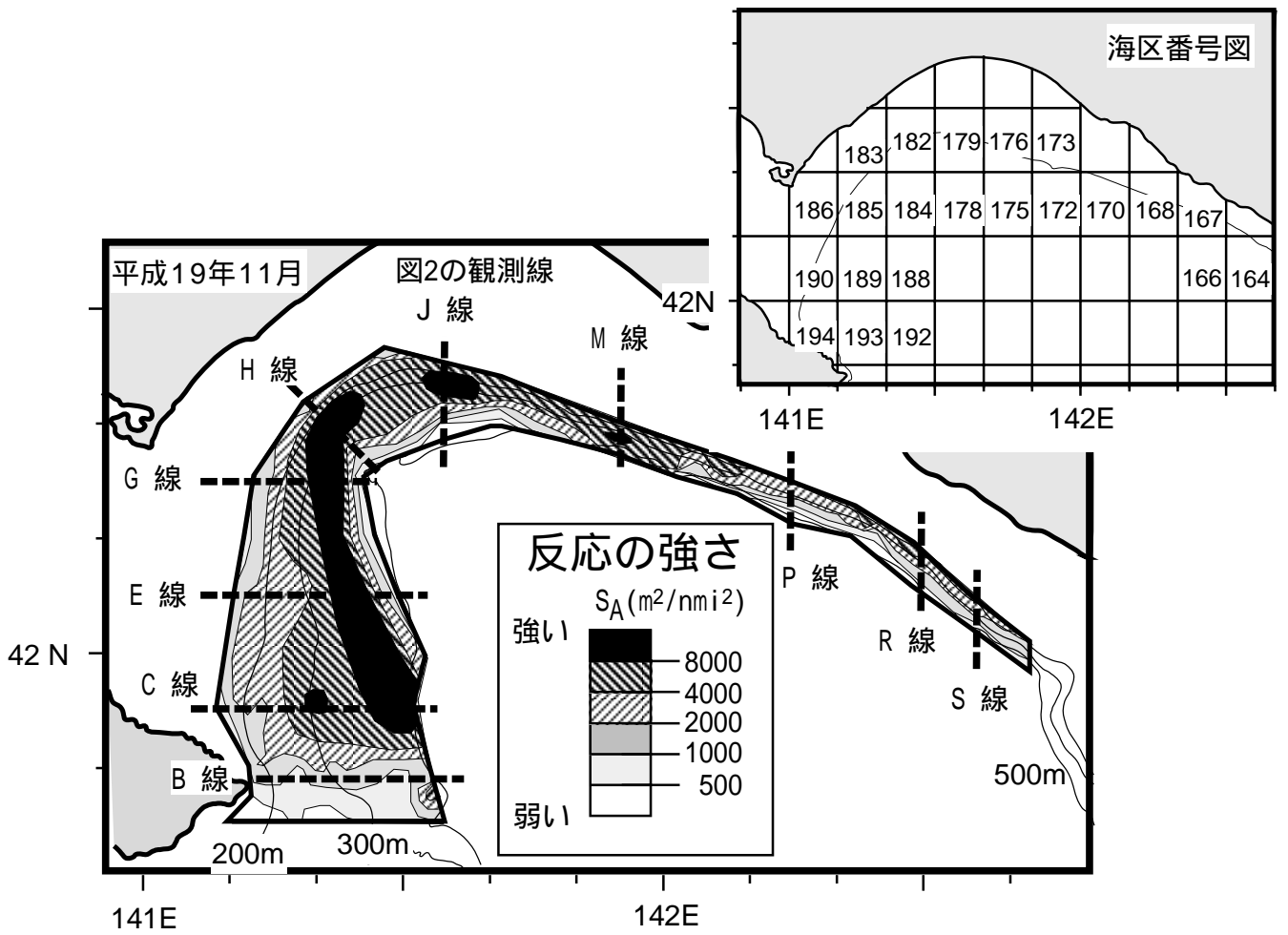


図1 . 調査海域における魚群の水平分布  
黒ワクの中が調査範囲

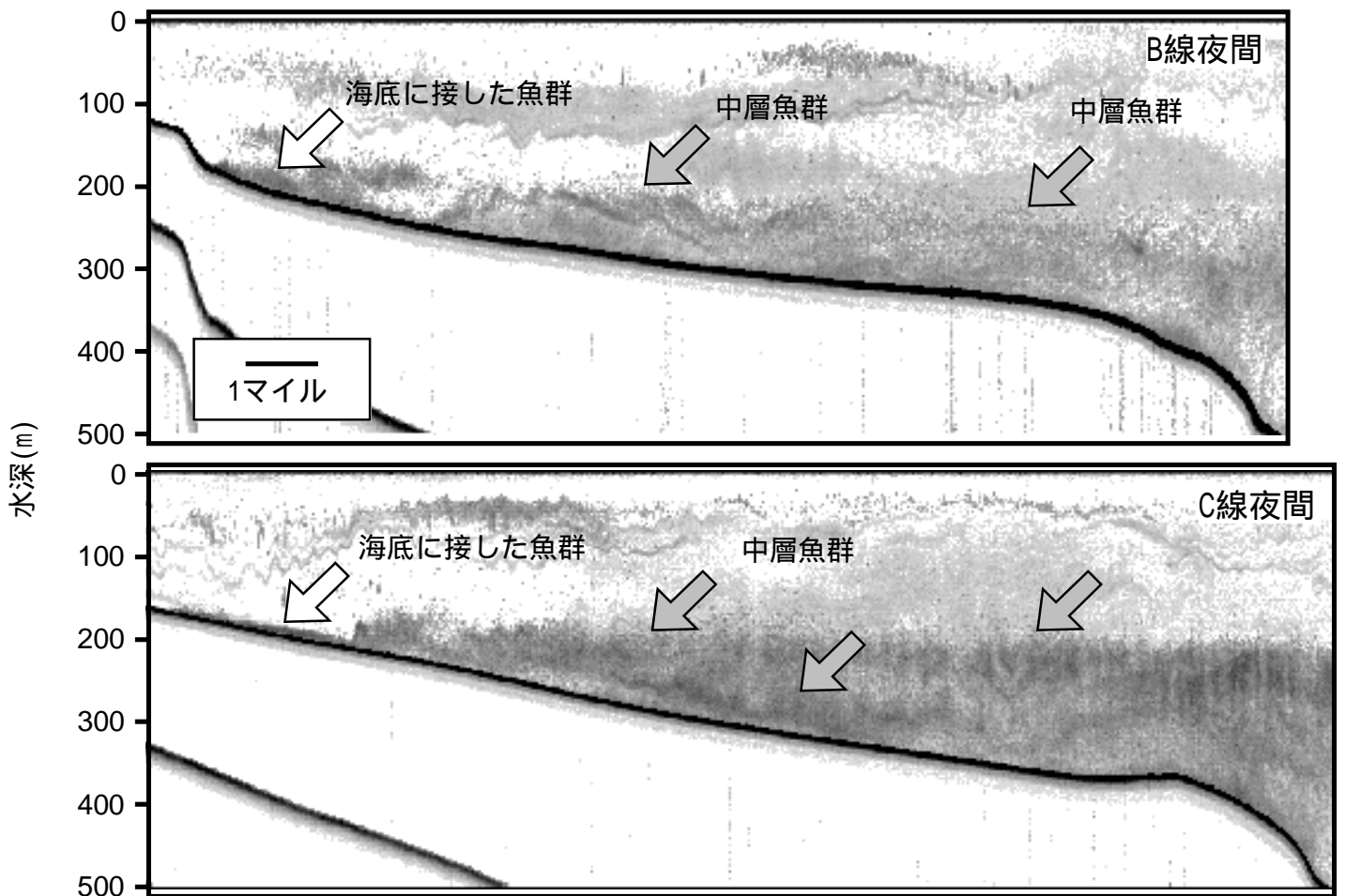


図2 . 魚群の分布 (計量魚探画像)

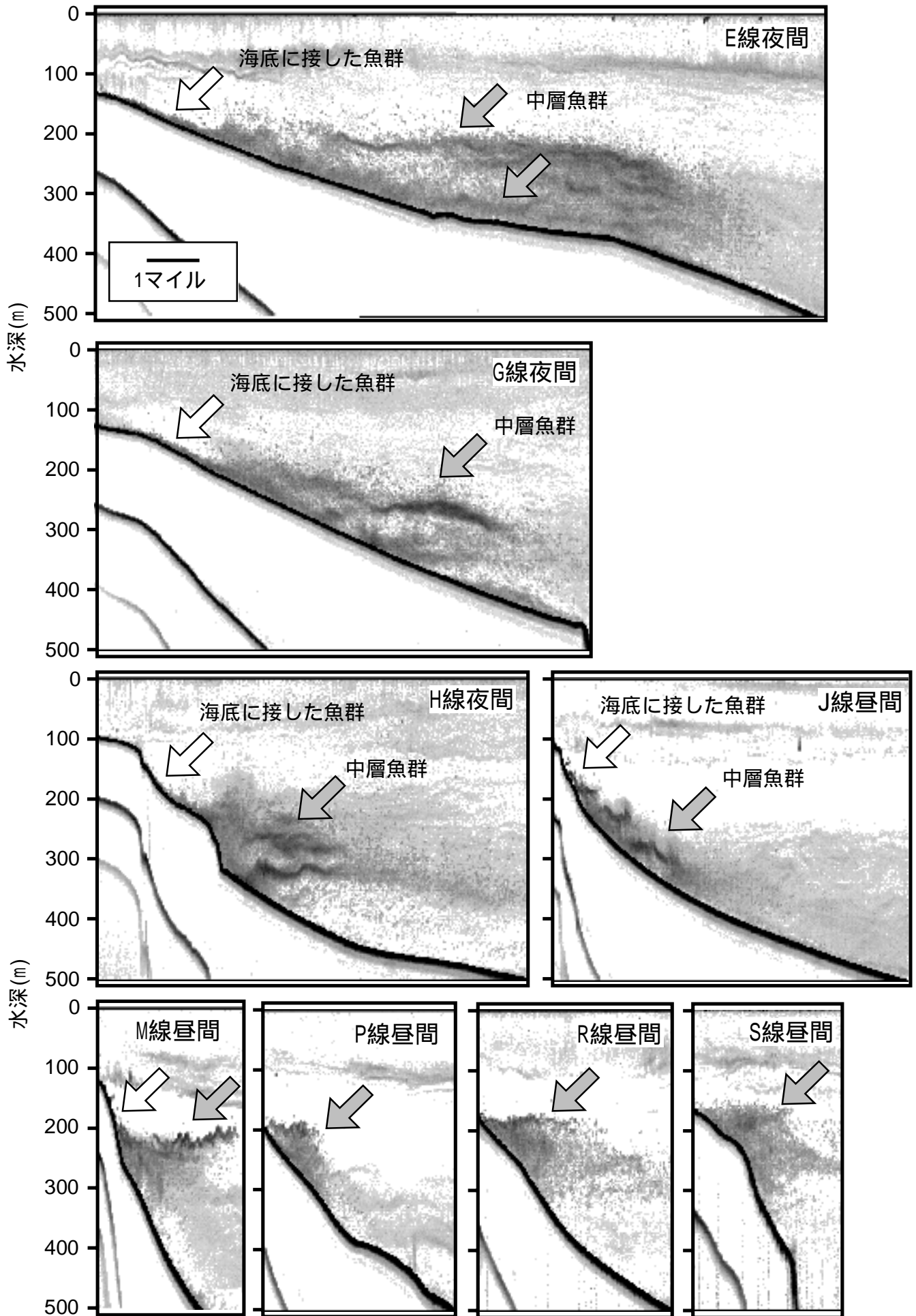


図2．魚群の分布（計量魚探画像）つづき